

第1期総合戦略の数値目標及び重要業績評価指標（KPI）実績値（暫定版）

資料3

評価…A：目標値を達成 B：未達成であるが進捗あり C：未達成

分野1【しごとづくり】基本目標：「安定的で魅力ある雇用を創出する」

※1 市民の声アンケート

※2 集計中のデータについてはH30年度実績を掲載

※3 変更ある場合のみ掲載

番号	項目	戦略策定時 (時点)	現状値 (R元年度末)	目標 (H31)	最終実績	2期策定 時点※3
数値 目標	雇用の場が整っていると感じる市民の割合※1	全体21.6% 20代以下： 27.3% 30代：23.1% (H25)	全体34.8% 20代以下： 45.9% 30代：41.3%	策定時を上回る	A	

A-1上越の強みをいかした地域産業の活性化

A-1-1 農・商・工・環連携による新しい上越産品の開発と市場拡大

1	メイド・イン上越認証品数（累計）	76品（H27）	117品	100品	A	
2	新商品・新技術の開発・市場化の件数（市支援分）	5件/年（H26）	5件/年	5件/年	A	C
3	見本市等へ出展した事業者数（市支援分）	8事業者/年（H26）	22事業者	40事業者/年	B	A
4	新規にeコマースに参入した事業者数（市支援分）（累計）	—	29事業者	40事業者	B	
5	商店街等の活性化に向けたイベント開催等の取組件数（市支援分）	10件/年（H26）	7件/年	11件/年	C	
6	地産地消推進の店の認定数	126店（H26）	167店	150店	A	
7	雪室食品を商品化する食品関連事業者数（市支援分）（累計）	—	8事業者（H30）	8事業者	A	

A-1-2 地域資源・地域特性をいかした新産業創出

7 再掲	雪室食品を商品化する食品関連事業者数（市支援分）（累計）	—	8事業者（H30）	8事業者	A（再掲）	
8	メタンハイドレートの供給拠点としての直江津港の活用	メタンハイドレートの発掘調査の促進やPR活動を関係機関と連携して行っている	国や県、関係機関が開催したフォーラム等への参加による情報収集や環境イベント等でのPR、小学校への出張授業などを行っている。国による表層型メタンハイドレートの回収・生産技術の調査研究が引き続き行われている。	メタンハイドレートの試掘・調査の拠点として直江津港が活用されている状態	B	
9	直江津港の外貿定期コンテナの仕向地など	4航路（H26）	2航路	航路数の増加・コンテナの仕向地の多様化	B	C
10	外貿定期コンテナ取扱量（コンテナ取扱個数は、20フィートコンテナ1個に換算した数）	31,341個/年（H26）	37,229個/年	50,000個/年	B	

A-1-3 地域産業支援のためのネットワーク強化

11	創業支援・創業（実現）件数（市支援分）	【参考】 創業支援140件 創業（実現）55件 (H21～25累計)	創業支援 157件/年 創業（実現） 84件/年	創業支援50件/年 創業（実現）20件/年	A	
2 再掲	新商品・新技術の開発・市場化の件数（市支援分）	5件/年（H26）	5件/年	5件/年	A（再掲）	C

A-1-4上越の農業の競争力強化と担い手確保

12	認定農業者等の担い手への農地集積率	62.0%（H26）	69.0%	78.0%	B	
13	認定農業者数	1,099人（H26）	1,080人（R1.4）	策定時以上	C	A
14	新規就農者数	28人/年（H26）	29人/年	31人/年	B	A

## A-2観光振興を通じた地域産業の活性化

### A-2-1観光コンテンツの充実と観光関連産業の強化

番号	項目	戦略策定時 (時点)	現状値 (R元年度末)	目標 (H31)	最終実績	2期策定 時点※3
15	市内への観光客入込数	5,437,588人/年 (H26)	5,176,854人/年 (H30) ※2	7,600,000人/年	—	C
16	春日山城跡の観光客入込数	274,680人/年 (H26)	282,360人/年	300,000人/年	B	C
17	市内宿泊施設の定員稼働率	31.4% (H26)	29.5% (H30) ※2	43.4%	—	B

### A-2-2コンベンション誘致による交流人口拡大

18	100人以上の宿泊を伴うコンベンションの誘致件数	5件/年 (H26)	9件/年	12件/年	B	A
----	--------------------------	------------	------	-------	---	---

## A-3誰もが生きがいを持って働ける環境づくり

### A-3-1キャリア教育の推進

19	働くことの意義や働く人の思いに気づくとともに、自分の将来について関心を高める中学生が90%以上いる中学校の割合、校数(中学校キャリア・スタートウィークアンケート)	90.9%、20校 (H26)	100.0% 22校/22校	対前年度の割合、校数を上回る (H29:100%)	A	C
----	---	--------------------	-------------------	------------------------------	---	---

### A-3-2若者の就労支援と定着促進

20	高校生・大学生等のインターンシップ受入事業者数(市把握分)	42事業者 (H27.8)	113事業者	70事業者	A	
----	-------------------------------	------------------	--------	-------	---	--

### A-3-3多様な人材が活躍できる職場環境づくりと就労支援

21	農福連携障害者就労支援事業の取組状況	障害者の農業分野での就労を支援するモデル事業を実施している。	障害者の農業分野での就労が徐々に農業者に認知され、拡大している	障害者の農業分野での本格的な就労が実現している状態	A	B
22	女性の就業率(25歳～44歳)	74.6% (H22)	77.8%	76.5%	A	

分野名	A	B	C	計
分野1 しごとづくり	11	9	2	22

(A:目標値を達成 B:未達成であるが進捗あり C:未達成)

分野2【結婚・出産・子育て】基本目標：「若い世代の結婚・出産・子育ての希望を実現しやすい環境を整える」

※1 市民の声アンケート  
 ※2 集計中のデータについてはH30年度実績を掲載  
 ※3 変更ある場合のみ掲載

番号	項目	戦略策定時 (時点)	現状値 (R元年度末)	目標 (H31)	最終実績	2期策定 時点※3
数値 目標	出産や子育てがしやすいと感じる市民の割合 ※1	全体53.8% 20代以下： 54.0% 30代：52.4% (H25)	全体64.0% 20代以下： 67.6% 30代：70.3%	策定時を上回る	A	

B-1仕事と生活が調和した社会の形成

B-1-1ワーク・ライフ・バランスの推進

23	仕事に満足している理由として「趣味・家庭生活との両立」「子育てとの両立」を上げる人の割合（若者世代・子育て世代の市民アンケート）	「趣味・家庭生活との両立」10.1% 「子育てとの両立」19.4% (H27)	「趣味・家庭生活との両立」11.4% 「子育てとの両立」21.6%	策定時以上	A	
----	--	---	--------------------------------------	-------	---	--

B-2出会い・出産・子育ての希望を実現しやすい環境づくり

B-2-1若者の自分磨きと交流促進

24	20代・30代で結婚を希望する人のうち、適当な相手にめぐり会えていない人の割合（若者世代・子育て世代の市民アンケート）	58.6% (H27)	48.8%	策定時以下	A	
----	---	-------------	-------	-------	---	--

B-2-2妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援

25	出産や子育てがしやすいと感じる市民の割合 ※1	53.8% (H25)	64.0%	策定時以上	A	
26	合計特殊出生率	1.68 (H25)	1.51 (H30)	策定時以上	C	
27	不妊治療費の助成件数（市助成分）	150件/年 (H26)	399件	200件/年	A	

B-2-3子どもの育ちへの支援の充実

28	児童・生徒の全国標準学力テストの偏差値	全学年・全教科で全国平均と同程度または上回る（大きく上回るを含む。以下同じ。）(H26)	・小学校では、全学年全教科において、全国偏差値平均を上回った。 ・中学校では、2、3年生の国語において全国の偏差値平均を上回り、他は同程度だった。	全学年・全教科で全国平均と同程度または上回る。	A	
29	学校が楽しいと感じる児童・生徒の割合	小学6年生91.7% 中学3年生83.1% (H26)	平成31年度の調査において「学校に行くのは楽しいですか」の質問項目が再び設定された。 小学校6年生87.2% 中学校3年生82.0%	小学6年生93.5% 中学3年生87.5%	C	
30	学習障害（LD）通級指導の取組状況	指導員を増員した学習障害（LD）通級指導をモデル実施している。(H27)	LD通級の利用児童生徒は小学校41名、中学校29名	本格実施により児童の小学校から中学校へのよりスムーズな移行につながっている状態	A	B

B-2-4地域ぐるみの子育ての推進

31	学校運営協議会の熟議・協働が課題解決・改善に結び付いた学校の割合	79.7% (H26)	97.2%	82.5%	A	
32	地域青少年育成会議事業等への地域住民の参加者数	143,000人/年 (H26)	167,125人/年	策定時以上	A	

B-2-5上越の子育て環境の魅力発信

25 再掲	出産や子育てがしやすいと感じる市民の割合 ※1	53.8% (H25)	64.0%	策定時以上	A(再掲)	
----------	----------------------------	-------------	-------	-------	-------	--

分野名	A	B	C	計
分野2 結婚・出産・子育て	9	0	2	11

(A：目標値を達成 B：未達成であるが進捗あり C：未達成)

分野3【まちの活性化】基本目標：「時代に合った地域を形成し、地域間連携を活発化させる」

※1 市民の声アンケート

※2 集計中のデータについてはH30年度実績を掲載

※3 変更ある場合のみ掲載

番号	項目	戦略策定時 (時点)	現状値 (R元年度末)	目標 (H31)	最終実績	2期策定 時点※3
数値 目標	上越市を暮らしやすいと感じる市民の割合※1	全体79.2% 中心市街地： 81.6% 平野部：76.3% 中山間部： 72.8% (H25)	全体77.2% 中心市街地： 80.2% 平野部：72.5% 中山間部： 67.9%	策定時を上回る	C	

C-1多様な地域特性の磨き上げと活用

C-1-1中心市街地の都市機能の強化と魅力の向上

33	中心市街地における空き店舗の件数	高田 21件 直江津 10件 (H27.8)	高田 16件 直江津 10件	高田 17件 直江津 6件	B	
----	------------------	------------------------------	-------------------	------------------	---	--

C-1-2農山村の暮らしを支える機能の確保と魅力の向上

34	中山間地域支え隊の派遣人数	—	142人/年	300人/年	B	
35	中山間部に住んでいる市民の暮らしやすいと感じている割合※1	72.8% (H25)	67.9%	76.0%	C	
36	移住希望者からの相談対応件数	77件/年 (H26)	152件/年	82件/年	A	

C-1-3都市のストックの活用促進

33 再掲	中心市街地における空き店舗の件数	高田 21件 直江津 10件 (H27.8)	高田 16件 直江津 10件	高田 17件 直江津 6件	B(再掲)	
----------	------------------	------------------------------	-------------------	------------------	-------	--

C-2地域活動の担い手確保と活性化

C-2-1地域活動の担い手確保と活性化

37	地域活動や市民活動に参加している市民の割合※1	42.5% (H25)	46.5%	47.5%	B	
38	集落や町内会などの地域コミュニティ活動が盛んであると感じている市民の割合※1	55.5% (H25)	57.4%	63.0%	B	
39	NPO・ボランティアセンターの市民活動団体の登録団体数	231団体 (H26)	261団体	245団体	A	
40	地域活動やボランティア活動に参加したことのある市内大学生の割合(まちづくりに関するアンケート調査)	73.6% (H27)	81.0%	88.4%	B	
41	行動する人づくり事業「元気の出るふるさと講座」受講者数	720人/年 (H26)	506人/年	1,000人/年	C	B

C-2-2まちづくり・地域づくり活動への支援体制の強化

34 再掲	中山間地域支え隊の派遣人数	—	142人/年	300人/年	B(再掲)	
42	地域コミュニティ活動が始まる地区数(市支援分)	—	1地区/年	3地区/年	B	A

C-3地域と地域を結ぶつながりの強化

C-3-1公共交通の利便性向上と利用促進

43	路線バス・乗合タクシー・スクールバス混乗の利用者数	1,737千人/年 (H24)	1,497千人/年 (H30) ※2	1,561千人/年	—	C
44	えちごトキめき鉄道の乗車人数(1日1キロ当たり平均)	1,925人 (H24えちごトキめき鉄道調査)	1,639人/日 (H30) ※2	1,812人	—	C
45	ほくほく線の乗車人数(1日1キロ当たり平均)	922人 (H25)	1,395人/日 (H30) ※2	1,088人	—	A

C-3-2地域と地域を結ぶストーリーづくり

46	地域の歴史や伝統が継承されていると感じている市民の割合※1	50.3% (H25)	60.9%	53.5%	A	
----	-------------------------------	-------------	-------	-------	---	--

分野名	A	B	C	計
分野3 まちの活性化	3	8	2	13

(A：目標値を達成 B：未達成であるが進捗あり C：未達成)

分野4【UIJターンとまちの拠点性】基本目標：「上越市への多様な人の流れを創出する」

※1 市民の声アンケート

※2 集計中のデータについてはH30年度実績を掲載

※3 変更ある場合のみ掲載

番号	項目	戦略策定時 (時点)	現状値 (R元年度末)	目標 (H31)	最終実績	2期策定 時点※3
数値 目標	市内への観光客入込数	5,437,588人/ 年 (H26)	5,176,854人/ 年 (H30) ※2	7,600,000人/ 年	—	C
	今後も上越市に住みたいと感じる市民の割合※1	全体75.0% 20代以下： 64.6% 30代：65.7% (H25)	全体69.5% 20代以下： 52.3% 30代：64.5%	策定時を上回る	C	

D-1 UIJターンの促進

D-1-1 UIJターンの促進

36 再掲	移住希望者からの相談対応件数	77件/年 (H26)	152件/年	82件/年	A(再掲)	
----------	----------------	-------------	--------	-------	-------	--

D-2 まちの総合力の強化による求心力の向上

D-2-1 まちの拠点性強化

47	上越市まち・ひと・しごと創生推進協議会における地域を挙げた「まち・ひと・しごと創生」に向けた取組の状況	協議会の設立と本戦略の策定	協議会構成団体の連携が進み、分野横断的、業種横断的に事業が展開されている状態	協議会構成団体の連携が進み、分野横断的、業種横断的に事業が展開されている状態	A	
----	---	---------------	--	--	---	--

分野名	A	B	C	計
分野4 UIJターンとまちの拠点性	2	0	0	2

(A：目標値を達成 B：未達成であるが進捗あり C：未達成)

評価結果総括表

数値目標

政策分野	項目	評価
分野1 しごとづくり	雇用の場が整っていると感じる市民の割合※1	A
分野2 結婚・出産・子育て	出産や子育てがしやすいと感じる市民の割合※1	A
分野3 まちの活性化	上越市を暮らしやすいと感じる市民の割合※1	C
分野4 UIJターンとまちの拠点性	市内への観光客入込数	—
	今後も上越市に住みたいと感じる市民の割合※1	C

重要業績評価指標 (KPI)

集計中のKPIについては下記に含めず  
( )は2期策定時点

分野名	A	B	C	計
分野1 しごとづくり	11 (11)	9 (6)	2 (7)	22 (24)
分野2 結婚・出産・子育て	9 (8)	0 (1)	2 (2)	11 (11)
分野3 まちの活性化	3 (5)	8 (8)	2 (3)	13 (16)
分野4 UIJターンとまちの拠点性	2 (2)	0 (0)	0 (0)	2 (2)
合計	25 (26)	17 (15)	6 (12)	48 (53)

(A：目標値を達成 B：未達成であるが進捗あり C：未達成)